**令和５年度　三重県高等学校総合体育大会**

**兼　東海・全国高等学校総合体育大会県予選**

**開催要項**

1.　主催

三重県教育委員会　　　　三重県高等学校体育連盟　　　　三重県フェンシング協会

2.　後援

公益財団法人　三重県スポーツ協会

3. 主管

　 　三重県高等学校体育連盟フェンシング専門部

4.　会場

鳥羽高等学校　体育館　 三重県鳥羽市安楽島町1459　℡　0599-25-2935

5.　大会役員

　　　部長　　　橋本真治（鳥羽高等学校長）

理事長　　　福田るり子

　　　委員長　　　松本　優

　　　副委員長　　　日向和義

　　　技術委員長　　　日向和義

　　　総務委員長　　　大野幸太

総務委員 稲垣智子　　 長松晶子　　　下里佳代　　　真弓覚仁　　佐口理紗

　　　審判長　　　松本優

　　　審判委員　　　竹田陸人　　　村上夏希　　　竹井燿一　　　土屋夏生　　　逢坂和花子

　　　　　　　　　　　　　 小林侑愛　　　武藤はなの　　　八忽柚香　　　森田浩彰　　　阿部陽馬

　　　その他専門部が認めた者

　　　進行係　　　中川佳代

　　　記録・報道　　　松本優

救護　　　中川佳代

会場責任者　　　松本優

　　　補助員　　　県内フェンシング部員

6.　競技種目

男女学校対抗戦　　個人対抗男女フルーレ　　個人対抗男女エペ　　個人対抗男女サーブル

7.　日程

　　　監督会議 令和５年５月２７日（土）　09時00分～

　　　審判会議 令和５年５月２７日（土）　09時10分～

競技 令和５年５月２７日（土）　09時40分～（個人対抗フルーレ）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 13時00分（エペ・サーブルのみ出場者集合）

　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 14時00分～（個人対抗エペ・サーブル）

令和５年５月２９日（日） 10時00分～（男女学校対抗戦）

※会場は８時に開館する。

8.　競技規則

（1）(公社)日本フェンシング協会試合規則・(公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部規定による。ただし、一部三重県高等学校体育連盟フェンシング専門部ローカルルールを準用する。

（2）事前に用具検査は行わないが、ポイントの圧力（フルーレ500g・エペ750g）の検査は審判員がピスト上で行う。その他の試合用具の点検は各校で行い、ピスト上にて審判が不適合と判断した場合は罰則の対象となる。

9.　競技方法

（1）学校対抗戦は1チーム４名編成とし、試合は3名総当たりで5勝先取とする。

（２）個人対抗戦は各種目ともプール方式とトーナメント方式の混合方式とする。

（３）プール方式では、3分間(実働)５本勝負、トーナメント方式では、3分間(実働)3セット(セット間の休憩は１分)15本勝負とする。但し、例外として、サーブルの第１セットは一方の選手が8点を先取した場合に終了する。規定試合時間終了時に同点の場合、抽選を行った後、1分間（実働）の1本勝負を行う。

（４）個人対抗戦に関しては、優勝者が決定した後、２～４位決定戦をトーナメント方式で行う。

10.引率・監督について

（1）引率責任者は校長が認める県職員または外部指導者とする。

（2）監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は損害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

11.参加申込

（１）参加申込書は各校にメールで送信する。下記メールアドレスへデータファイルを送信すること。

(2)申込先

専門部事務局メールアドレス 　 fencing.mie@gmail.com

(3)申込締切

令和５年　５月２３日（火）必着

　※参加費なし。

12.表彰

学校対抗，個人対抗ともに、1位～4位の者に賞状を授与する。

　　　※表彰式は行う。

13.申し合わせ事項

（1）大会参加に関する事項

ア）競技中の疾病、傷害などの応急処置は各校で行うこと。

イ）選手変更についてはエントリーした選手が怪我または病気により出場できなくなった場合大会開会式48時間前までに学校長の承認を得て専門部宛に専門部規定の様式により書面にて提出し承認を得ること。

ウ）外部指導者の監督については複数校の監督を兼ねることはできない。

エ）引率責任者は大会終了時まで会場に居なければならない。

（2）競技に関する事項

ア）上下衣、ストッキングは必ず白色とすること。特に試合中に膝が出てこない長いもので、かつ厚いものを着用すること。

イ）上衣の中には必ず半袖プロテクター（FIE）を着用し（FIE公認ユニホームでも着用のこと）、女子の選手は金属または硬い素材でできている胸当てを両胸に着用すること。（フルーレの選手はその上にソフトカバー着用）また、その他の急所にも充分な防備をすること。

ウ）選手は頭髪に注意し、試合に支障のないようにすること。特に、頭髪がメタルジャケットの表面にかからないようにすること。

エ）ゼッケンを図のように作成し、各自後ろ足膝の上、外側に必ずつけること。姓を男子は黒字、女子は赤字でピスト係が判別できるよう(太さ1㎝以上)に記入し、同一校に同性の者がいる場合は識別できるまで名をつける。

オ）ベンチの入場者は、当該種目監督及び登録選手とする。

カ）外履き・内履きの靴は、競技会場・練習会場とも必ず区別すること。

キ）練習中はマスクなしでのファイティング・レッスンを禁止する。

ク）剣で床を突かないこと。また、剣の曲りを直す場合は備え付けのベニヤ板の上で行うこと。

ケ）エペのガードの内側のソケットにはブロックの中で２つの分離された穴がなければならない。従って、２本のワイヤーがブロックの中を別々に通り、端末に繋がるようにすること。

コ）ボディーワイヤーには両端に接続プラグがついているが、この接続プラグは透明の素材で作られてなければならない。武器に装備された安全確保装置の欠如の場合は、安全確保装置がボディーワイヤーのプラグに装備されていること。

　サ）マスク内にはフェイスガードを着用するまたは一般マスクを着用すること。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ゼッケン

姓

学校名

14.感染防止対策について

（1）各自手洗い、消毒をこまめに行うこと。

（２）各チームの代表者が選手の体調をチェックすること。

（３）発熱があるものは会場には入れない。